



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進



水泳授業

5月13日(水)に今年度第1回目の水泳授業がアエラスポーツ(富士吉田市)で行われました。スクールバスで学校を出発し1時間ほどで現地に到着しました。9時40分から11時30分までの約2時間水泳の学習を行いました。3つのグループに分かれアエラスポーツのコーチから分かりやすい指導を受けました。練習をしていくと、それぞれの実態に合わせてどんどん上達していく様子が見られました。水泳のコーチに教えていただける機会があることは、大変ありがたいと感じました。泳げない場合は、まず、背泳ぎの練習を十分行うことで、浮く感覚を身に付け、顔を水につけなくても泳ぐことができ、泳げたという楽しさや自信につながることを学びました。背泳ぎの後は、クロールの水のかき方とバタ足の練習をしました。休憩を入れながら、2時間集中して練習しました。終わったときの生徒は、清々しく、すっきりした様子が見られました。次回は、5月20日(水)、第3回は22日(金)です。



村内探訪

1年生が、校外学習を実施しました。その様子を紹介します。

●5月15日(金)、1年生は、道志村内を巡り、伝統や文化、産業を学びました。まずクレソンを栽培する体験を行いました。ぬかるんだ畑の中に長靴で入り、始めはうまく歩くことさえできませんでした。講師の佐藤美知子さんから、かかとを上げるようにすると、かかとと土の間に空気が入り抜けやすくなると教えていただき、少しずつ上手に歩けるようになりました。畑全体に苗を植え終えると、その後はあらかじめ収穫しておいたクレソンの試食をしました。学校にいる先生方が、クレソンとゆで卵でサンドウィッチを作り、畑まで配達してくれました。なんとフットワークのよい職場だろうと感じました。最高の『道志村クレソンサンド』でした。その後、クレソンに関わる質問をし、知識を深めました。次は、場所をみなもと体験館に移し、うどん作り体験をしました。手でこね、足でこね、班で協力し、立派な手作りうどんの完成です。作り立てのうどんは最高でした。その後は、神地公民館で道志村に受け継がれている伝統芸能『おきゅうだい』の学習をしました。映像鑑賞と体験をし、保存会の方と意見交換も行いました。今日一日の活動を通して、道志村のいいところをたくさん発見した1年生でした。私もますます道志村が大好きになりました。『おきゅうだい』の学習・体験では、新聞取材も受けました。とても学びの深い1日となりました。

